

# 重要

教育職員免許法及び同法施行規則の改正（2019年4月1日施行）に基づき、教職課程は「新課程」へ移行いたします。以下の掲載情報（2018年度現行）につきましては、変更になる場合がございます。

## 教育職員免許法第6条別表第8を根拠に取得する場合（隣接校種免許状の取得）

教員免許をすでに所有し、かつ取得を希望する免許に隣接する学校において最低3年以上の教員として良好な実務経験年数のある方が、所定の必要単位を取得して所有する免許状・勤務校に隣接する校種の免許状を取得するための方法です。本学において隣接校種免許を取得する場合、下表（別表第8）の最低修得単位数以上の単位を修得する必要があります。

### 〔教育職員免許法第6条 別表第8〕

所要資格	受けようとする免許状の種類	幼稚園教諭 2種免許状	小学校教諭 2種免許状	中学校教諭 2種免許状	高等学校教諭 1種免許状		
有することを必要とする学校の免許状	小学校普通教諭	幼稚園普通教諭	中学校普通教諭	小学校普通教諭	高等学校普通教諭	中学校教諭 (2種免許状を除く)	
必要とする最低在職年数		3年	3年	3年	3年	3年	
最低修得単位数		6	13	12	14	9	12

### 〔教育職員免許法施行規則第18条の2〕

受けようとする免許状の種類		幼稚園教諭 2種免許状	小学校教諭 2種免許状	中学校教諭 2種免許状	高等学校教諭 1種免許状			
有することを必要とする学校の免許状		小学校教諭 普通免許状	幼稚園教諭 普通免許状	中学校教諭 普通免許状	小学校教諭 普通免許状	高校教諭 普通免許状	中学校教諭 普通免許状 (2種免許状を除く)	
最低 修得 単 位 数	教科に関する科目				10			
	教職 に 関 する 科 目	教育課程及び 指導法に関する科目	各教科の指導法	10	10	2	2	2
			道徳の指導法	1			1	
			保育内容の指導法	6				
	生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目		2	2	2	2	2	
教科又は教職に関する科目					4	8		

#### < 備考 >

1. 教科に関する科目の単位の修得方法は、第四条に定める修得方法の例にならうものとする。
2. 各教科の指導法の単位の修得方法は、小学校教諭の2種免許状の授与を受ける場合にあつては、国語（書写を含む。）、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭及び体育のうち五以上の教科の指導法（幼稚園教諭の普通免許状を有する場合にあつては生活、中学校教諭の普通免許状を有する場合にあつてはその免許教科に相当する教科を除く。）についてそれぞれ二単位以上を、中学校教諭の2種免許状又は高等学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合にあつては、それぞれ受けようとする免許教科ごとに修得するものとする。
3. 教科又は教職に関する科目の修得方法は、第六条の二に定める修得方法の例にならうものとし、高等学校教諭の普通免許状を有する者が中学校教諭の2種免許状の授与を受ける場合の教科又は教職に関する科目の修得方法は、国語の教科についての免許状の授与を受ける場合にあつては書道（書写を中心とする。）について一単位以上を、地理歴史の教科についての（…中略…）公民の教科についての（…中略…）理科の教科についての（…中略…）美術の教科についての免許状の授与を受ける場合にあつては工芸について一単位以上を、技術の教科についての（…中略…）修得するものとし、中学校教諭の普通免許状（2種免許状を除く。）を有する者が高等学校教諭の1種免許状の授与を受ける場合の教科又は教職に関する科目の修得方法は、地理歴史の教科についての（…中略…）、公民の教科についての（…中略…）、情報の教科についての（…中略…）、工業の教科についての（…中略…）、家庭の教科についての（…中略…）についてそれぞれ一単位以上を修得するものとする。



教育職員免許法及び同法施行規則の改正（2019年4月1日施行）に基づき、教職課程は「新課程」へ移行いたします。  
以下の掲載情報（2018年度現行）につきましては、変更になる場合がございます。

**音楽：中学校2種 ←小学校での勤務経験が3年以上**

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目コード	本学での開講科目	授業形態	単位数			備考 ( )は東京受講の費用
				通信	面接	計	
ソルフェージュ	1909	ソルフェージュ ※	演習	2		2	
声楽(合唱及び日本の伝統的な歌唱を含む。)	1950	声楽1 (注1)	実技		2	2	日本の伝統的な歌唱を含む。6日24,000円(40,000円)
	1924	合唱	演習		2	2	6日24,000円
器楽 (合奏及び伴奏並びに和楽器を含む。)	1952	ピアノ1 (注1)	実技		2	2	6日24,000円(40,000円)
	1927	器楽合奏法	演習	1	1	2	和楽器を含む。3日12,000円(15,000円)
	1928	伴奏法	演習	2		2	
指揮法	1929	指揮法	演習	2		2	
音楽理論、作曲法 (編曲法を含む。)及び 音楽史(日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。)	1904	西洋音楽の歴史と理論	講義	1	1	2	2日8,000円(10,000円)
	1905	日本音楽の歴史と理論	講義	1	1	2	日本の伝統音楽及び諸民族の音楽を含む。2日8,000円(10,000円)
	1910	楽典	演習	2		2	
	1930	作曲法	演習	4		4	編曲法を含む。
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	5019	音楽科指導法Ⅱ △	講義	2		2	
生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目	5006	生徒指導と進路指導論 ※	講義	2		2	
	5007	教育相談 △	講義	2		2	
計				21	9	30	

注1) 声楽・ピアノの学外(東京)スクーリング授業料は1単位につきそれぞれ20,000円です。  
※その他科目ごとの注意事項の詳細はP63参照のこと

【概算220,000円】

**美術：中学校2種 ←小学校での勤務経験が3年以上**

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目コード	本学での開講科目	授業形態	単位数			備考
				通信	面接	計	
絵画(映像メディア表現を含む。)	1001	平面基礎	実習	4	2	6	6日24,000円
	0209	ビデオ映像制作論	講義	4		4	映像メディア表現を含む。
彫刻	1002	立体基礎	実習	4	2	6	6日24,000円
デザイン(映像メディア表現を含む。)	1102	ビジュアルデザイン基礎実習Ⅰ	実習	2	2	4	映像メディア表現を含む。6日24,000円
工芸	1681	工芸演習	演習		2	2	6日24,000円
美術理論及び美術史 (鑑賞並びに日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。)	0250	アートプランニング	講義	2	2	4	鑑賞を含む。3日16,000円
	0210	美術論	講義	4		4	
	0212	日本美術史	講義	4		4	日本の伝統美術及びアジアの美術を含む。
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	5010	美術科指導法Ⅱ △	講義	2		2	
生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目	5006	生徒指導と進路指導論 ※	講義	2		2	
	5007	教育相談 △	講義	2		2	
計				30	10	40	

【概算295,000円】

**国語：中学校2種 ←小学校での勤務経験が3年以上**

教育職員免許法施行規則に定める科目	科目コード	本学での開講科目	授業形態	単位数			備考
				通信	面接	計	
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1302	文章論	講義	2	2	4	文章表現を含む。3日16,000円
	1314	国語概論	講義	4		4	音声言語を含む。
	1315	国語史	講義	4		4	
国語学(国文学史を含む。)	1316	日本文学の世界Ⅰ (注1)	講義	4		4	国文学史を含む。(古典文学)
	1317	日本文学の世界Ⅱ (注1)	講義	4		4	国文学史を含む。(近代文学)
漢文学	1318	漢文学	講義	4		4	
書道(書写を中心とする。)	1319	書道 △	演習	2		2	
各教科の指導法 (情報機器及び教材の活用を含む。)	5017	国語科指導法Ⅱ △	講義	2		2	
生徒指導、教育相談及び 進路指導等に関する科目	5006	生徒指導と進路指導論 ※	講義	2		2	
	5007	教育相談 △	講義	2		2	
計				30	2	32	

注1)「日本文学の世界Ⅰ」、「日本文学の世界Ⅱ」はどちらか1科目を選択。

【概算172,000円】

P70～P71の各教科の指導法に「教育課程の意義及び編成の方法」を含む。

**小学校2種** ←中学校での勤務経験が3年以上  
←幼稚園での勤務経験が3年以上

教育職員免許法施行規則に定める科目		科目コード	本学での開講科目	授業形態	単位数			備考	
					通信	面接	計		
教育課程及び指導法に関する科目	各教科の指導法(注1)	国語☆ (書写を含む。)	2025	国語科指導法Ⅰ(初等) △	講義	1	1	2	2日8,000円
			2124	国語科指導法Ⅱ(書写・初等) △	講義	2		2	
		算数	2038	算数科指導法	講義	1	1	2	2日8,000円
		生活◎	2040	生活科指導法 △	講義	1	1	2	2日8,000円
		体育	2024	体育科指導法 △	講義	1	1	2	2日8,000円
		音楽☆	2022	音楽科指導法Ⅰ(初等)	講義		2	2	3日16,000円
		図画工作☆	2023	図画工作科指導法Ⅰ	講義		2	2	3日16,000円
		社会	2037	社会科指導法	講義	1	1	2	2日8,000円
		理科	2039	理科指導法	講義	1	1	2	2日8,000円
		家庭	2041	家庭科指導法	講義	1	1	2	2日8,000円
		各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	2028	道徳指導法(初等)	講義	2		2	幼児基礎必須。
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目(注3)		生徒指導の理論及び方法							
		進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2027	生徒指導と進路指導論(初等) △	講義	2		2	
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	2044	教育相談(初等) △	講義	2		2	
計						14	11	25	

注1)【各教科の指導法】「国語(書写を含む。）」、「算数」、「生活」、「体育」、「音楽」、「図画工作」、「社会」、「理科」、「家庭」の9教科うち、ご自身が保有する免許教科の相当科目を除いて、5教科以上の教科指導法について10単位以上を取得する。 **【概算95,000円】**

☆中学校教諭普通免許(音楽)基礎 → 「音楽科指導法Ⅰ」の履修は不可  
 ☆中学校教諭普通免許(美術)基礎 → 「図画工作科指導法Ⅰ」の履修は不可  
 ☆中学校教諭普通免許(国語)基礎 → 「国語科指導法Ⅰ・Ⅱ」の履修は不可  
 ◎幼稚園教諭普通免許基礎 → 「生活科指導法」の履修は不可  
 都道府県教育委員会により履修する教科を指定している場合もありますので、勤務する学校の所在地の都道府県教育委員会(現在勤務のない方は、居住地の都道府県教育委員会)で必ず指導を受けてください。  
 例:「音楽」、「図画工作」、「体育」の3教科を必須とする都道府県もあります。  
 注2)【道徳の指導】幼稚園教諭を基礎として小学校教諭2種免許を取得する場合は、「道徳指導法」が必須となります。  
 注3)【生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目】「生徒指導の理論及び方法」、「教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法」、「進路指導の理論及び方法」のすべての事項を含むため、「生徒指導論」「教育相談」4単位の修得が必要です。

**幼稚園2種** ←小学校での勤務経験が3年以上

教育職員免許法施行規則に定める科目		科目コード	本学での開講科目	授業形態	単位数			備考	
					通信	面接	計		
教育課程及び指導法に関する科目	保育内容の指導法	健康	2166	保育内容(健康)	演習	1		1	
		人間関係	2167	保育内容(人間関係) △	演習		1	1	「健康・人間関係・環境・言語・表現」の5領域(注1)修得する。 2日12,000円×3
		環境	2168	保育内容(環境) ※	演習	1		1	
		言語	2177	保育内容(言葉)	演習		1	1	
		表現	2178	保育内容(表現) △	演習		1	1	
計						2	3	5	

注1)5領域の内容を含んで修得する必要の可否については、申請する教育委員会にて指導を受けてください。法定上の最低修得単位数は6単位です。別表第8(P68)を参照。 **【概算60,000円】**

**中学校教諭2種** ←高等学校での勤務経験が3年以上  
←次の表の4科目8単位を含んで、9単位以上を修得

教育職員免許法施行規則に定める科目		科目コード	本学での開講科目	授業形態	単位数			備考	
					通信	面接	計		
各教科の指導法		5010	美術科指導法Ⅱ(注1) △	講義	2		2		
道徳の指導法		5012	道徳指導法	講義	2		2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目		5006	生徒指導と進路指導論 ※	講義	2		2		
		5007	教育相談 △	講義	2		2		
計						8		8	

注1)指導法Ⅰの履修が必須な場合もあります。必ず教育委員会での指導(確認)をお願いします。 **【概算57,000円】**  
 ※教科は、所有する高校免許と同一の教科となります。(例:高校の音楽免→中学校音楽免、高校の美術免→中学校美術免)

## <教育委員会での確認について>

### 1. 確認先

確認先は、勤務する学校の所在地の都道府県教育委員会（現在勤務のない方は、居住地の都道府県教育委員会）で必ず履修指導を受けてください。また、勤務年数についても確認してください。

### 2. 必要単位

単位の取得方法は該当する科目表にて算出のうえ、その修得単位での免許申請の可否、及び必要在職年数について必ず確認してください。

取得に必要な単位は、基礎となる免許状を取得した後に取得した単位が必要です。

例:現在お持ちの免許状を修得するときに、隣接校種の単位を取得していても、その単位は別表第8では使用できません。

### 3. 勤務年数

当該免許での良好な成績での在職年数が3年以上の在職証明書の添付が必要です。

隣接する免許状での実務経験が必要です。→「実務に関する証明書」が必要となります。

例:小学校1種免許状と幼稚園1種免許状を取得したうえで、幼稚園での実務経験のみある場合は、別表第8で中学校免許状の取得はできません。

### 4. 免許申請

教員免許状の授与申請は、指導を受けた都道府県教育委員会への個人申請となります。

大学からの一括申請はできません。